生命を生みだす母親は　生命を育て　生命を守ることをのぞみます

2017年　第63回
山口県母親大会
IN 宇部・山陽小野田

■とき

2017年 7月2日(日)

分科会 10:00～11:50
（教育・暮らし・平和 etc）
見学分科会もあります。

全体会 13:00～16:00
3階文化ホール

●オープニング

女声コーラス 原コール・ドリーム
夢をうたう ～いつまでも若々しくあるために～

●記念講演

講師：仁藤 夢乃さん
演題：若者が希望を持てる社会に
～居場所のない少女たちに寄り添って～

資料代 500円(高校生以下無料)

託児あります(要申し込み)

一般社団法人 Colabo 代表

仁藤（にとう） 夢乃（ゆめの）さん

仁藤さんが代表をつとめるColabo(コラボ)は、中高生世代の女子を支える活動を行っている。夜の街での巡回や声かけ。食事や風呂、衣類の提供。児童相談所や役所、警察、病院、学校などへの同行支援。虐待や児童買春などで暴力を受けた少女のための一時シェルターや、自助グループの運営、支援者向けに少女を取り巻く実態を伝える夜の街歩き研修なども行っている。

著書に『難民高校生』(英治出版)、『女子高生の裏社会』(光文社新書)

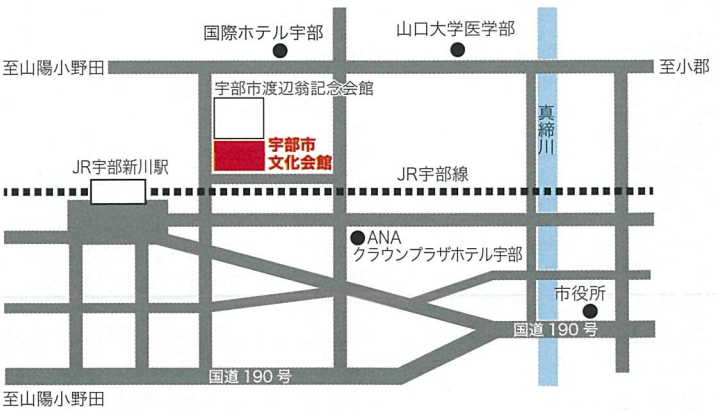
■ところ

宇部市文化会館

宇部市朝日町8-1　TEL.0836-31-7373　(駐車場あり)

主催
山口県母親大会実行委員会
連絡先 083-927-0743
宇部・山陽小野田現地実行委員会
連絡先 0836-32-2079

後援
宇部市・山陽小野田市・宇部市教育委員会・山陽小野田市教育委員会・朝日新聞社・読売新聞西部本社・毎日新聞社・山口新聞社・中国新聞防長本社・宇部日報社
KRY山口放送　yab山口朝日放送　tys テレビ山口
C-able 山口ケーブルビジョン株式会社



第63回山口県母親大会分科会

分科会 10:00〜11:50

		分科会名	助言者・指導者
教育	1	**(映画)さとにきたらええやん(100分)** 〜日雇い労働者の街・釜ヶ崎の「子どもの里」に密着した涙と笑いあふれるドキュメンタリー〜	鑑賞券・・・・・・・500円
	2	**親子で、山であそぼう!** 〜乳幼児の発達相談もあります〜 ●場所:こぐま保育園(山園舎) 9:50にバスで出発	林　久美子さん　(理学療法士) (予約受け付けます。当日参加も可)
	3	**学校現場の状況を考えよう** 〜道徳の教科化から見えてくるものは〜	江頭　啓之さん (小学校教員)
くらし	4	**誰もが安心して暮らしていける社会を!!** 〜貧困・年金・消費税・独居老人〜	村田　悦子さん (山口県生活と健康を守る会連合会)
	5	**ストップ共謀罪!・なくせ冤罪!** 〜あなたも明日は犯罪者?〜	山本　丈夫さん (日本国民救援会山口県本部)
	6	**ひとりで抱え込まないで!** 〜解雇・パワハラ・賃金不払い・あなたや家族・友人の職場の悩み〜	原田　雅博さん (宇部市労働相談センター代表相談員)
	7	**山口県の未来を今こそ守ろう!** 〜上関原発計画・岩国基地の現状〜	岩国:高重　敬子さん (岩国平和委員会) 上関:河済　盛正さん (原発をつくらせない山口県民の会)
特別	8	**(講座)** **ちひろの命をかけた絵本づくり**	岡本　正和さん (おえかきやさん)
	9	**(体験講座)** **足腰が丈夫になるセーフティーウオーキング**	前田久美子さん (健康運動実践指導者)
	10 見学分科会	**(フィールドワーク)** **海に沈んだ長生炭鉱**	内岡　貞雄さん (長生炭鉱の水非常(水没事故)を歴史に刻む会共同代表) バス代・・・・・・・300円 定員25名(要予約)

母親が変われば社会が変わる!

母親運動の歩みは日本の女性運動の歩みです

○母親大会の始まりは——

覚えていますか?1954年太平洋のビキニ環礁でアメリカが行なった水爆実験でマグロ漁船の無線長、久保山愛吉さんが「死の灰」を浴びて亡くなりました。広島、長崎につぐ三度目の被爆です。(第50回大会ではこの水爆実験を目撃体験した久保山さんたちが決死の覚悟で帰国を果たした真相が初めて明らかにされました。)

日本の母親たちは「原水爆をなくせ」の署名運動にたちあがり、この声は1955年平塚らいてうさんたちによって国際民主婦人連盟に届けられ「原水爆から子どもを守ろう」と世界母親大会の開催が決まりました。それに先立ち6月に東京で第1回日本母親大会が開かれ、日本各地の炭坑や農村からも1円募金で送り出された2,000人の母親が集まりました。戦争の悲惨さを、生活の苦しさを人前で涙ながら堰を切ったように訴えたのです。新憲法に背中を押され、普通の母親・女性たちが初めて自分たちの願いや考えを言葉にし、交流する大会をもつ画期となりました。

○だれでも参加できる大会——

母親、それは母性をもつすべての女性を対象にした呼び名です。「自分らしく生きたい」「人間らしい働き方と暮らしを」そんなあたりまえの願いをもった母親・女性たちが、小さなため息から出発し思いを話しあい、毎年各地から集まります。

考えや立場の違いをこえ、だれでも、ひとりでも参加できます。